

障がい学生支援に関する説明会

岡山大学
障がい学生支援室

障がい学生支援の義務化

- ◆障害者差別解消法（2016年4月施行）により、
「不当な差別的取り扱いの禁止」、「合理的配慮の提供」
が義務化。

※私立大学では、「合理的配慮の提供」は努力義務だが、令和3年5月の改正により、令和6年4月1日から法的義務に変わることが決定。

- ◆法律に基づきながら、現在、大学では公式に、障がい学生支援が行われている。

岡山大学障がい学生支援室

◆2009年4月に設置

◆障がいを有する岡大生への支援

- 修学面での情報保障
- 参加のための(移動)支援
- 環境整備(支援機器の整備、学内のバリアフリー化の促進等)
- 障がい学生と学生の所属学部・研究科等との調整、所属学部・研究科等に対するコンサルテーション

◆障がい学生支援に関する啓発

- 研修会、授業、資格プログラムの提供等

岡山大学における 障がい学生支援体制

◆各部局(学部、研究科等)

「**障がい学生支援担当者**」を選出。障がい学生支援担当者の教員を中心に、部局が責任をもって所属の障がい学生の支援を行う。

◆教育推進委機構 学生支援部門 障がい学生支援室

- ・専任教員2名＋コーディネーター1名
- ・ボランティア学生(アクセシビリティリーダー、ノートテイク等)

◆その他、様々な部署と連携・協力

- ・保健管理センター、学生相談室、キャリア・学生支援室、入試課等

相談→支援の流れ

- 【1】障害があり、大学に修学支援を依頼したい
- 【2】障がいがあるが、支援が必要なのか、
どのような支援をしてもらえるのか知りたい
- 【3】自分は、障がいがあるのではないかと心配している

相談先：自分が相談しやすいところへ

所属学部・研究科の
担任や指導教員、
または
教務・学生担当事務

障がい学生支援室

必要に応じて
連携

保健管理センター、
学生相談室、等

「個別支援連絡会議」の実施

…支援策（合理的配慮）を協議・調整

(1) 学生本人（および保護者）、(2) 所属部局の障がい学生支援担当者、(3) 当該学生の担任や指導教員等、(4) 所属部局の教務・学生担当者、(5) 障がい学生支援室（必要に応じて保健管理センター）の教員、(6) その他、関係部署、学外機関等が参加。

支援の実施

…配慮通知文書の送付、面談、等

その他、部局と障がい学生支援室が連携しての継続支援。
配慮内容の再調整が必要な場合、随時、個別支援連絡会議を開催。

岡山大学 障がい学生支援室HP
「障がい学生への支援について」
より

<https://www.iess.ccsv.okayama-u.ac.jp/koudai-shien/syougai/syougaisien/>

個別支援連絡会議

経緯説明・支援の要望

ノートテイクという方法がありますよ(次善策の提案)。

学生側と学部側の調整

※学部にとって過重な負担とならず、当該学生にとって有用と考えられる**合理的な配慮**を提案。

全授業に手話通訳をつけて欲しい。

人材がないし、新しく雇うのはすぐには厳しい。

建設的対話による合意形成

学生
本人

保護
者

障がい
支援

保健
管理
セ等

学部
①

学部
②

学部
③

支援の 責任提供

学部①:障がい学生支援担当者

学部②:所属学部学科担任等

学部③:所属学部事務(教務学生係) など⁶

障がい学生支援に関する 個別相談

◆随時、岡山大学への進学を考えておられる方(ご本人、保護者、教師等)の相談を受け付けています(ご希望や状況に応じて、対面もしくはオンライン(Zoom等)での相談となります)。

◆申込方法

- メール(shien-dr@okayama-u.ac.jp)もしくは電話(086-251-8553)で、「岡山大学への進学に向けての個別相談希望」とお伝えください。

- 申込時に、以下の情報を合わせて、お伝えください。

- ①お名前、お立場(本人、保護者、教師等)、②連絡先電話番号、③簡単な相談内容
- ④ご希望日時(相談員の予定との日程調整を行いますので、複数挙げてください)